

のびるよ そだつよ

国立市立国立第五小学校 研究便り

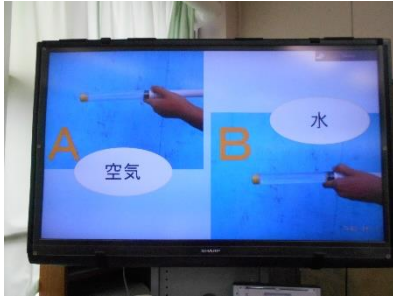
校長 白鳥 聡

NO. 2 令和4年7月14日

(編集：国立第五小学校 研究部)

この「のびるよ そだつよ」は、本校が進めている研究活動を保護者の皆様にご紹介するための研究便りです。研究内容や公開授業の日程、子供たちの様子等をホームページ上でお知らせしていきます。

4年1組 理科 「とじこめた空気や水」 6月8日(水)



4年生は『とじこめた空気や水』の問題作りの場面の研究授業を行いました。前の時間に空気でっぼう（筒にスポンジを2つつめその間に空気を閉じ込めたものを棒で押してスポンジを飛ばします）でどの子もスポンジを飛ばす体験を十分してから本時を迎えました。空気でっぼうに空気の代わりに水を閉じ込めたものの動画を見ました。空気と違って水ではスポンジが飛ばず、「どうして水だと飛ばないんだろう。」という疑問が生まれました。水と空気を比べて違いを話し合う中で、「空気は力を加えるとちぢむから、飛ぶのではないか。水は力を加えるとちぢまないから飛ばないのではないか。」という意見が出てきました。空気は力を加えてもちぢまないという意見の子もいたため、「空気や水はちぢむのだろうか。」という問題を子供たちが作り上げました。

その後は1人1人がじっくり考えながら仮説を考えてノートに書きました。「〇〇と思います。」だけでなく、そのあとに自分なりの理由を書くことができていました。本時はここまでの学習でしたが、「早く実験して確かめたい。」という声が聞こえてきました。



つくし学級 生活単元学習 「じしゃくのふしぎをしよう」 6月29日(水)



つくし学級は3年生5名で、じしゃくについて学習しました。前の時間は紙で作った2種類の魚（竹ひごとはり金をそれぞれ貼り付けたもの）が、じしゃくにつくかどうかを調べました。じしゃくにつくものとつかないものがあるということを学んだので、本時ではほかの身近なものが磁石につくかどうかを調べました。6種類のもの（鉄のスプーン、プラスチックのスプーン、トランプ、はさみ、お金、ゼムクリップ）の写真カードを1人1人が「つく」「つかない」に分け、予想を立てました。立てた予想をもとに2つのグループに分かれて話し合い、グループとしての予想を立てました。はさみはつくつかないかグループによって予想が分かれ、お金はほとんどの子がつくと予想していました。はさみはつくところとつかないところがあることが分かり、お金はつかなかったので多くの子供たちが驚いていました。またじしゃくにゼムクリップがたくさんつく様子を見て、多くの子が私もやってみたい、と興味津々でした。これからも「知りたい。」「やってみたい。」という気持ちを大切に、お互いに学び合いながら学習に取り組んでいってほしいと思います。



